

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 平沢電機株式会社 )

## SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築(当社CSR規程 1.人権・労働(4)差別の禁止で規定、他に公正採用選考人権啓発推進員制度として、経営トップが積極的に関与している)各種研修					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨について「セクハラ防止方針」や「CSR規程」で明記して研修の実施、相談窓口を設置している				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法遵守、36協定締結等で過労な長時間労働はさせないことをしているとともに月60時間以上の残業者には毎月の産業医の健康相談を受けさせる。管理者は毎日残業時間管理を行なっている。全社として忙しい職場への応援や増員等の対策をしている							8.5 8.8										
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など条件で差別しない体制を構築(当社CSR規程 1.人権・労働(4)差別の禁止で規定)して外国人の社員登用も進めている			4.4				8.7 8.8	10.2 10.3									
人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・全社として労働安全衛生マネジメントシステムを構築して毎月1回会議を開き活動内容の報告や改善点の検討を行なっている。また2022年に労働安全衛生MSはISO45001に準拠したものとして新しい体制で活動している。「労働大臣が定める「快適職場」の認定をうけ、県から安全衛生の取組で奨励賞をうけた」		3					8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・これらの健康づくりとして、これらの健康づくり計画と職場復帰プログラムを盛り込んだ「メンタルヘルス対策指針」を策定している・毎月1回健康相談を実施している		3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・多様な人材が活躍できるように技能検定資格取得を進めている・「社員登用規程」を作成し女性や外国人のチャレンジの場となっている・病気や障害でフルタイムで働けない社員に短時間社員制度で応援している、「子育て応援宣言」も行い学校行事参加の負担減			5.1 5.5			8.5	10.2 10.3										
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・「年間教育計画」に基づく各種技能検定資格取得に向けた外部教育受講や資格取得後の資格手当の支給を行なっている・管理者教育・安全衛生教育やその安全衛生上資格取得研修を行なっている		4	5.5			8 9											
	【公正な待遇】 ・雇用形態に問わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法・労働契約法等改正内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に従った体制の整備対応をしている			5.5			8.5	10.2 10.3										
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・協会けんぽの「健康づくりチャレンジ宣言」をおこなっている・2020年「健康経営優良法人」取得から2024年まで連続して取得中		3				8											
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・「エコアクション21」活動の一環として廃棄物の管理・削減を行なっている											11.6 12		14.1				
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・「エコアクション21」活動の一環として自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している(毎月数値発表しグラフにして掲示)						7.3					13						
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・「エコアクション21」活動の一環として自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる(毎年環境目標として掲げ数値表記)					7.2 7.3					12.4 13.3							
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・「エコアクション21」活動の一環として法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる(「SDS一覧表」にて管理)		3.9		6.3						11.6 12.4							





上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定